

令和8（2026）年 3月27日

第1回定例会を終えて（談話）

東京都議会立憲民主党・ミライ会議
・生活者ネットワーク・無所属の会
幹事長 竹井 ようこ（小平市）

本日、令和8年都議会第一回定例会が終了しました。

私たち都議会立憲ミネ無は、知事提出の全議案に賛成し、議員提出議案第1号から第6号に反対しました。

私たちは、令和8年度予算案に、私たちが求めてきた水道基本料金の無償化や、補正予算と連動した14歳以下への1万1千円給付、バス運転手不足対策、手頃な価格の住宅供給など、都民生活に直結する施策が盛り込まれたことは、政策の大きな前進であると考え、熟議の末、予算案に賛成しました。

一方で、多額の予算が投じられるお台場ファウンテンやプロジェクションマッピングは、不透明な費用対効果を客観的に検証し、事業の妥当性を厳格に評価することを求めました。

また、IRカジノ調査費と中学英語スピーキングテストについては、予算特別委員会で、予算を減額する修正案を提出しました。

中学英語スピーキングテストに関しては、AI活用などの方向性が示されたことは一歩前進であると考えています。不受験者への不公平な配点や現場の負担、運営体制など、入試活用の在り方を含めた制度全体の検証と見直しが不可欠であり、生徒が真に納得できる仕組みとなるよう引き続き求めていきたいと考えています。

なお、本会議の一般質問では、中山寛進都議が、宿泊税、江戸博の発信強化などについて、藤井とものり都議が、子どものSNS利用の安全対策などについて、もり愛都議が、平和外交、神宮外苑再開発などについて、また、予算特別委員会の一般総括質疑では、関口健太郎都議が、火葬、ドクターヘリなどについて、三雲崇正都議が、東京アプリ、私学の情報公開などについて、岩永やす代都議が、緑の確保、子どもの権利などについて、桐山ひとみ都議が、事業評価、女性の健康などについて、それぞれ取り上げました。

その他、意見書・決議では「水道料金減免」など4本の決議が可決しました。

なお、アメリカ等によるイランへの軍事行動は、国際法違反であり、民間人の命を脅かす行為は決して許されるものではありません。私たちは、日本が平和国家としての意思を明確に示していく必要があると考え、都議会の皆さまにも改めて呼びかけていく考えです。

都議会立憲ミネ無は、引き続き、多様性が尊重され、誰にでも居場所と出番があり、そして誰もが共に生きていくことのできる社会の実現に向けて取り組んでいく所存です。

以上